

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年1月17日

事業所名 児童発達支援なかよし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・屋上を利用し、園児の活動量の確保を行っています。 ・指導訓練室内に個室を作り、環境を整えています。	・今後もより過ごしやすい環境を目指し、物の配置等を考えて行きます。
	2	職員の配置数は適切である	○		・年齢が低い園児やマンツーマン対応が必要な園児もいるため、定数以上配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・階段の利用がある。 ・手洗い場の数や高さが子供に適していない。	・階段を利用するときは、必ず職員が手を繋いぐようにしています。 ・手洗い場は、踏み台を用意し、時間差で手洗いを行うようにして待つ時間をなくしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、朝と園児が降園した後に、掃除を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・常勤職員で一日の反省を行っています。	・全職員が話し合いに参画できるよう時間を見つけていきたいと思います。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者へは資料配布をしています。 ・昨年度からHPにも掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・今後検討していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・全職員が研修を受けることは難しいが、オンライン研修に積極的に参加し、職員会議で研修の報告をしています。	・研修への参加が難しい職員へ、事業所内研修を行ってきたいと思います。(研修の報告会等)
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	・まずプログラムの案を出し、その他の職員から意見を出し合っ て決めています。	・全職員で話し合いができるよう、時間を設けていきたいと思います。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	・全職員が集まって打ち合わせをすることは難しい。(送迎がある為)事前に行事や活動については、書面で配布し、わからないことはその都度確認を行っている。	・送迎の関係で、全職員での打ち合わせは行えていませんが、残っている職員で打ち合わせや園児の様子を共有できるようにしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・職員間での話し合い、行事後は必ず反省会を行っている。	・勤務体制の関係で、全職員ではできないが、振り返りの時間を設けてその他の職員へ情報を共有していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・スムーズに移行やできるよう、特性シートを作成し情報提供をしたり、担当者会議の場で活用したりしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・退園児、卒園児については、必ず特性シートを作成し、情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			・療育を併用している場合は、園児の様子を見に行ったり、電話で様子を伺ったりして連携をとっています。	・今後も研修会への参加を積極的に行っていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・コロナ対応の為、機会がありません。 ・園庭開放などへの参観は保護者に任せています。	・今後は交流の機会を増やしていけるよう、保育園と連携をとっていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			・担当者が参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		・ペアレントトレーニングはできていないが、連絡ノートや送迎時、面談時に情報交換を行い、保護者の対応力の向上を図っている。 ・保護者向けの研修情報を保護者へ知らせている。	・連絡ノートや送迎時のお話を、職員間で共有し、支援の方法を伝えていきたいです。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・父母の会はありません。今年度はコロナ対応の為、行えていませんが、参観日や懇談会等、保護者同士で話ができる機会があります。	・今後も、行事や集まりの際に、保護者同士が連携できるような場を設けていこうと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・今後、地域の方々との関わりが持てるよう、検討していきたいと思っています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・毎月、色々な災害を想定した訓練を行っている。	・毎月の訓練の様子を、園だより等でお知らせしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・ファイルを作成し、その都度記入をしています。	・全職員が話し合ったり、目を通したりして、共有していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・定期的に虐待防止アンケートを実施し、日々の支援のあり方をふり返っています。	・今後も継続して行い、研修会への参加もしていきたいと思います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。